

2024 年 7 月 10 日

一般社団法人日本音楽療法学会
日野原賞選考委員会

第 4 回日野原賞の受賞者が決定しました

第 4 回日野原賞

≪論文部門≫

受賞者 山下 薫

受賞対象論文 Listening to music before tooth extraction attenuates sympathetic nervous system activity: A randomized control trial.

掲載誌 Oral science international, 2023, 20(2):88-94.

2024 年 9 月 29 日（日）午前 9 時 40 分から、第 24 回日本音楽療法学会学術大会（札幌コンベンションセンター）において授賞式が執り行われます。授賞式後の記念講演では、多くの会員に講演を聴いていただければ幸いです。また、受賞記念講演は後日オンデマンドで配信されます。

日野原賞は、日本音楽療法学会（本学会）の創設と発展に貢献された故日野原重明初代理事長を顕彰する学術奨励賞として、2021 年度より創設されました。日野原先生の理念である“keep on going”を継承し、音楽療法の発展に貢献する学術研究や臨床現場での継続的な活動を奨励し、その結果、日本の音楽療法が人々の健康維持・増進に貢献することを目的としております。

日野原賞の対象は以下の 3 種です。

（論文部門）

対象 A：2023 年 1 月～12 月までに、日本音楽療法学会誌に掲載された原著、または事例研究の筆頭著者。

対象 B：2023 年 1 月～12 月までに、国内外の学会誌（第三者による査読のあるもの）に掲載された原著または事例研究の筆頭著者（本学会員に限る）

（活動部門）

対象 C：2023 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の期間に、音楽療法の普及・発展に貢献した活動を行った本学会員、または本学会員が運営する組織・団体。

※BおよびCに関しては、自薦、他薦が必要。

結果、本年度は対象 A 1 名、対象 B 1 名、残念ながら対象 C には応募がなく、論文部門の 2 名が選考の対象となりました。

論文部門の受賞者は、山下 薫会員（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 先進治療科学専攻）で、対象となった論文は「Listening to music before tooth extraction attenuates sympathetic nervous

system activity : A randomized control trial. Oral science international, 2023・20 巻・2 号・p 88—94」でした。

この論文の筆者らは、下顎埋伏智歯抜歯に際して、処置前に音楽を聴かせた群と対照群をランダムに振り分け、それぞれの自律神経活動、循環動態（血圧、心拍数）不安を測定しました。

この結果、音楽聴取群では交感神経機能・血圧が低下し、術後の状態不安スコアが低下していることが判明しました。すなわち、手術前に音楽を聴くと、術前の交感神経活動が抑制され、交感神経活動の亢進が減少することがわかりました。

本研究は、①ランダム化比較試験というエビデンスレベルの高い方法で抜歯のストレスに対する音楽の効果を証明したこと、②実験時間も対象者のサーカディアンリズムを考慮に入れて行っていること、③音楽の使い方が比較的簡単で、多くの歯科施設に应用可能であることなどが選考委員会で高く評価されました。

今回の選考は、論文部門ばかりで、活動部門から応募がなかったのは残念なことでした。しかし、応募した2件の論文は、いずれも優れた内容で、選考委員会でも活発な議論が展開されました。

日野原賞も第4回を迎えましたが、これまで受賞した4本の論文はすべて実験を基にした量的研究で、うち3本は英語で書かれていました。その理由として、応募する論文が量的研究に関するものが多いことがあげられます。

量的研究の重要性は改めて指摘するまでもありませんが、音楽療法は、①音楽という非言語的コミュニケーションを用いる、②音楽を対象者に合わせて即応的に使う、という特長があります。音楽療法の発展には、この本質的な部分に言及した（質的なアプローチを用いた）症例研究が今後ますます重要性を増すと考えられます。また臨床で起こるやり取りを生き生きと伝えるためには、日本語で論文を書き、投稿することも大切だと思います。今後、数多くの症例研究が投稿され、日野原賞の選考対象となり、多くの人に読んでもらえるように、皆様のご活躍を期待しております。

また、地域で音楽療法の普及に尽力されている団体には、どんどん本賞に応募していただきたいと思っております。